

# Mizuho Daily Market Report

2022/5/23

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	127.95	127.88	+0.09	▲1.34
EUR	1.0577	1.0564	▲0.0024	+0.0152
AUD	0.7063	0.7040	▲0.0009	+0.0100
SGD	1.3779	1.3804	▲0.0007	▲0.0125
CNY	6.6743	6.6930	▲0.0195	▲0.0962
MYR	4.3924	4.3892	▲0.0153	▲0.0095
THB	34.34	34.26	▲0.29	▲0.52
IDR	14646	14652	▲81	+39
PHP	52.22	52.23	▲0.23	▲0.23
INR	77.58	77.55	▲0.18	+0.10

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	2.781%	▲5.6 bp	▲13.7 bp
日本(10年)	0.242%	▲0.1 bp	▲0.4 bp
ユーロ圏(10年)	0.944%	▲0.5 bp	▲0.4 bp
オーストラリア(5年)	3.000%	▲5.3 bp	▲4.3 bp
シンガポール(5年)	2.572%	+0.6 bp	+0.6 bp
中国(5年)	2.534%	▲0.1 bp	▲3.8 bp
マレーシア(5年)	3.879%	▲11.2 bp	▲14.3 bp
タイ(5年)	2.395%	▲15.9 bp	▲23.1 bp
インドネシア(5年)	6.599%	▲8.9 bp	▲23.2 bp
フィリピン(5年)	6.012%	▲0.4 bp	+36.1 bp
インド(5年)	7.177%	+1.5 bp	+5.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	31,261.90	+0.0%	▲2.9%
N225(日本)	26,739.03	+1.3%	+1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	3,657.03	+0.5%	▲1.3%
ASX(オーストラリア)	4,083.84	+1.1%	▲0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,240.58	+1.6%	+1.5%
SSEC(中国)	3,146.57	+1.6%	+2.0%
KLSE(マレーシア)	1,549.12	▲0.0%	+0.3%
SETI(タイ)	1,622.95	+1.1%	+2.4%
JKSE(インドネシア)	6,918.144	+1.4%	+4.9%
PSE(フィリピン)	6,746.33	+1.3%	+5.8%
SENSEX(インド)	54,326.39	+2.9%	+2.9%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	312.73	▲0.3%	+1.3%
金	1,846.50	+0.3%	+1.9%
原油(WTI)	113.23	+0.9%	+2.5%
銅	9,451.00	▲0.1%	+2.9%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	126.80	—	130.50
EUR/USD	1.0430	—	1.0680
AUD/USD	0.6850	—	0.7100
USD/SGD	1.3750	—	1.3910
USD/CNY	6.6500	—	6.8500
USD/MYR	4.3730	—	4.4200
USD/THB	34.20	—	34.80
USD/IDR	14600	—	14800
USD/PHP	52.10	—	52.80
USD/INR	77.00	—	78.00

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は127円台後半でオープン。仲値にかけて上昇するも勢い続かず。上昇一服後は米金利上昇の流れに再びドル買い優勢となり、128円台前半を付ける場面もあった。米金利が下落に転じるとドル売り・円買いが進み127円台半ばまで下げるも、その後はじりじりと下値を切り上げ、127円台後半で海外時間に渡った。

アジア通貨は総じて堅調。前日にパーム油関連の輸出を許可するとの報道で、オフショア市場でルビアが上昇したことで、ルビアの堅調さが目立った。

海外時間は主要な経済指標の発表が予定されていない中、米株式市場が上昇して寄り付き、円売りが持ち込まれ、128円台前半まで上昇する。G7に参加している鈴木財務相が「過度の変動や無秩序な動きへの合意を再確認」と話したことや、黒田日銀総裁が「YCC軸に協力緩和を粘り強く続ける」と話したことが伝わったが、為替市場の反応は限定的となるが、株式市場が大幅に下落する中円買いが優勢となり、127円台半ばまで下落する。午後はブラッド・セントルイス連銀総裁の年末までに金利3.5%を目指すべきとの発言が伝わるが、週末を控え127円台後半付近での調整中心の値動きが続き、同水準でクローズした。

## 【金利】

米金利市場は、昨日に続きほぼ平行に低下。長期でやや買いが強く、金利カーブは若干フラット化した。主要経済指標発表が無く材料難のなか、引き続きの米景気減速懸念から買い優勢となった。中国人民銀行が政策金利を引き下げたことで、米国債が売られた場面では金利上向きとなったが、その後引けにかけては低下。

## 【予想】

ドル円は先週は下落したものの、日米金融政策格差は明確であり、あくまで一時的なものとして認識。ドル円は底堅く推移するのではないかと。

## 【本日の予定】

(日本) 4月 首都圏新築分譲マンション  
(日本) 日米首脳会談  
(アジア) 4月 シンガポール CPI  
(アジア) 4月 タイ 貿易収支  
(アジア) 5月 韓国 輸出 20日間 / 輸入 20日間  
(欧州) 5月 独 IFO企業景況感指数  
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)  
(欧州) 独 国債入札(6M, 12M)  
(米国) 4月 シカゴ連銀全米活動指数  
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。